



下野市の安全・安心な農産物PR事業 しもつけかんぴょうまつり (案)

日時 平成26年7月26日(土) 午前10時～午後2時
場所 道の駅しもつけ
主催 しもつけかんぴょうまつり実行委員会
共催 一般社団法人下野市観光協会、
 栃木県干びょう生産流通連絡協議会、
 とちぎ食の回廊「歴史とロマンのかんぴょう街道」
後援 下野市

**7月農家のかんぴょうむき実演&
 小学生のかんぴょうむき体験**
 (先着100名 参加賞)

ゆうがおふくべ三兄弟重さ当てクイズ
 正解者に賞品あり!
 (多数の場合は抽選)



ゆうがおの種飛ばし大会 (先着300名)
 どこまで飛ばせますか。 参加賞あり!

スタンプラリー
 会場内をめぐって!
 (先着500名 参加賞)

ふくべ細工コーナー

よろいかぶと

① 鎧兜の展示

記念写真を撮りましょう!

② ふくべ細工の絵付け体験

自分だけの作品を作りましょう

(しもつけ地域活性化委員会)



わくわくステージ

11:00～11:20 野ぼら幼稚園

12:10～12:40 おはやし

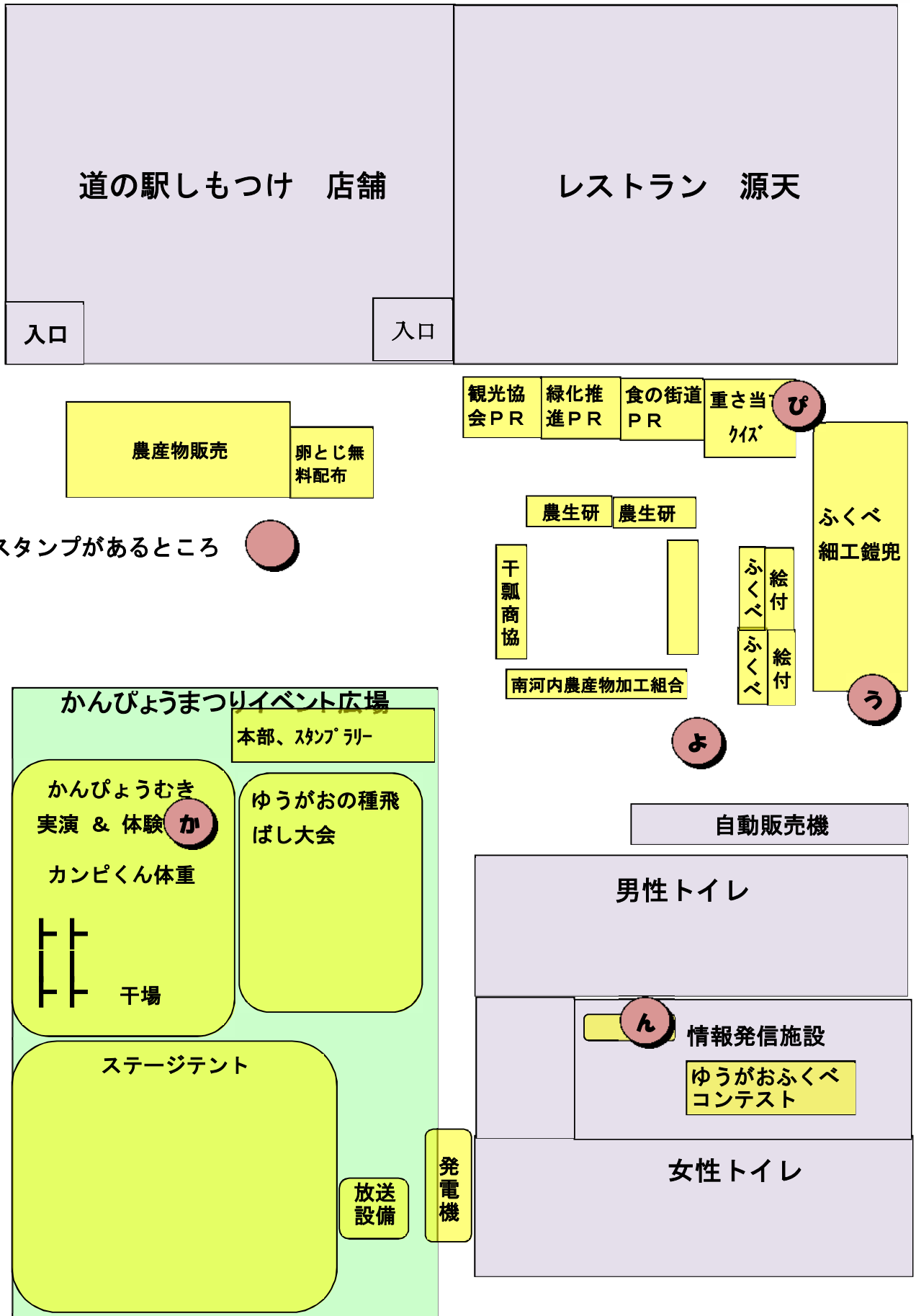
薬師寺六丁目・祇園町壺子連

試食! かんぴょう卵とじスープ、かんぴょう入り五目おこわ (数に限りあり)
 下野市のおいしいものの販売! 干瓢製品・農産物加工品・農産物

PRコーナー 歴史とロマンのかんぴょう街道、下野市緑化推進委員会
 一般社団法人下野市観光協会、

問合せ 事務局：農政課農業振興グループ 電話 48-2143

会場配置図



かんぴょう消費拡大支援事業（概要）

課名 農政課

1. 事業目的

かんぴょうの生産だけではなく全国的に消費が減少している状況の中で、かんぴょう生産日本一である下野市内の事業者による下野市産かんぴょうの消費に補助し、飲食店や食品加工事業者の負担を軽減する。

また、事業者は料理や加工食品製造の取り組みを店内やホームページ等でPRし、これらの取り組みを消費者だけではなく他の事業者や全国に紹介することで、かんぴょうの消費拡大を図る。

2. 事業主体及び対象者

- ①下野市内に存する飲食店または食品加工事業者
- ②下野市外に存する飲食店または食品加工事業者のうち、下野市地産地消応援団に認定されているもの

3. 事業内容

飲食店が提供する料理や食品加工事業者が製造する惣菜・加工食品の中で、下野市産かんぴょうまたはゆうがおの実を使用しているものに対し、下野市地産地消応援団（別紙のとおり）に認定された農産物直売所、食料品店、干瓢卸問屋で購入したかんぴょうまたはゆうがおの実の購入費用の一部を助成する。

4. 補助率

事業費の1/2以内（20,000円限度）初年度50件分（先着）

申請は一事業年度（毎年4月から翌年2月）中に一度限りとする。

5. 申請方法

申請書に以下の書類を添えて農政課窓口を持参するか郵送により申請する。

①締切

申請の締切は2月末日（郵送の場合は2月末日の消印有効）。

②申請書類

・領収書の写し。ただし銀行振込等による代金支払の場合で、かつ領収書の発行を断られた場合は、振り込み通知書など領収書に代わる書類があれば領収証拠書面とする。

・納品書の写し（領収書に納品した内容の記載がある場合は不要）

・写真・・・料理や加工食品の紹介写真。

・レシピまたはチラシ・・・下野市産かんぴょうと明示し、特徴や工夫した点なども記載する。（店名や連絡先も併せて市のホームページ等で紹介する）

③申請先

下野市産業振興部農政課農業振興グループ TEL0285-48-2143 Fax48-1424

※ 予算 積算根拠

かんぴょう 1人1食あたり 10g（卵とじ汁に5g、和え物に5g）

10g × 600食分 = 6kg

購入価格 7,000円/kg × 6kg = 42,000円 → 1/2以内の補助で 20,000円

下野市地産地消応援団一覧

No	名 称	備 考
1	株式会社ヨークベニマル石橋店	地場産野菜コーナーを設置し下野市産農産物を販売。出荷者を募集。
2	御菓子司 松屋	干瓢をつかい菓子を製造販売。あぶみ瓦(大・小)、八重草子夕顔ずんだ餡
3	下長田ふれあい直売所	農産物直売所、市内産農産物及び加工品を販売、販売品目及び出荷者を増やすPRをしている。
4	J Aおやま四季彩農産物直売所	
5	中大領農産物直売所 (やさいの停車場)	
6	ふれあいショップ国分	
7	かたかご亭・青空市(愛菜マート)	
8	J Aおやま国分寺農産物直売所	
9	J Aうつのみや南河内グリーンセンター 農産物直売所	
10	しばなん直売所	
11	株式会社道の駅しもつけ	
12	下野市農村生活研究グループ協議会	
13	南河内農産物加工組合	市内産農産物で加工品製造販売
14	グリム工房	市内産農産物で加工品製造販売
15	国分ふるさとをつくる会加工部会	市内産農産物で加工品製造販売
16	企業組合 らんどまあむ	市内産農産物で弁当・惣菜製造販売
17	キッチンゆうがお	市内産農産物で加工品製造販売
18	レストハウスしもつけ	市内産農産物で食事(そば)を提供
19	道の駅しもつけ加工研究会	市内産農産物で加工品製造販売
20	有限会社古池商店	干瓢集出荷・販売と干瓢のPR
21	株式会社小野口商店	干瓢集出荷・販売と干瓢のPR
22	株式会社宝屋商事	干瓢集出荷・販売と干瓢のPR
23	株式会社倉井康雄商店	干瓢集出荷・販売と干瓢のPR
24	株式会社ヤマイチ	干瓢集出荷・販売と干瓢のPR
25	有限会社今井商店	干瓢集出荷・販売と干瓢のPR
26	佐藤金物店	夕顔ふくべ細工の製造販売
27	しもつけ地域活性化委員会	夕顔ふくべ細工の作成、まちおこし行事の開催や学校への指導

No	名 称	備 考
28	薬師寺小学校	市内の全小中学校の給食では、下野市産農畜産物の利用を年々増やしている また、毎月18日の地産地消給食の日（しもつけいっぱいデー）を実施する際には、下野市産農畜産物を給食に取り入れるだけではなく、研究成果の掲示や食育だよりなどを使って、児童・生徒だけではなく保護者の方々の理解も深める食育の取組をしている 今後はより一層、関係機関と協力して学校において下野市産農畜産物の利用を増やしていただきたい
29	吉田東小学校	
30	吉田西小学校	
31	祇園小学校	
32	緑小学校	
33	南河内中学校	
34	南河内第二中学校	
35	石橋小学校	
36	古山小学校	
37	石橋北小学校	
38	細谷小学校	
39	石橋中学校	
40	国分寺小学校	
41	国分寺西小学校	
42	国分寺東小学校	
43	国分寺中学校	

No	名 称	備 考
44	食楽彩	市内産農産物を使って惣菜を製造販売。生産者との対話を元に生産方法の宣伝や素材の良さをポップで工夫。道の駅しもつけで販売。
45	(学) むつみ学園 認定こども園 むつみ愛泉幼稚園	市内産農産物を給食に取り入れ、献立表を保護者に通知したり、生産者を訪ねて稲作体験や野菜の収穫体験をしている。
46	(学) むつみ学園 認定こども園 むつみ保育園	市内産農産物を給食に取り入れ、献立表を保護者に通知したり、生産者を訪ねて稲作体験や野菜の収穫体験をしている。
47	牧場直営焼肉 野村屋 (宇都宮・鹿沼の2店舗)	下野市で育った牛の肉と下野市産の野菜を提供している。

昨年度までに認定された下野市地産地消応援団は、事業所・団体及び学校の計47件です。

下野市の食と農の支援団体である「下野市地産地消推進協議会」の審査を経て認定されるものです。

「下野市地産地消応援団」には、市産農畜産物の地産地消の取組を積極的に推進していただき、より一層の消費拡大と認知度向上をめざします。

今後も引き続き「応援団」となる事業所等を募集します。

対象事業所として次の5つに分類しています。

- 小売店、飲食店、宿泊施設、食品加工業等の『一般店舗』
- 農産物直売所、農産物加工組合等の『地産地消関連団体』
- 企業、観光施設等の『一般事業所』
- 社会福祉施設、児童福祉施設等の『医療・福祉施設等』
- ワラ細工やふくべ細工等の工芸品の製作の『その他』